

鹿児島支部だより

鹿児島支部は、鹿児島市、日置市、いちき串木野市、三島村、十島村で構成されています。

☆令和元年度年間行事計画

開催日	行 事 内 容
7 月 5 日	支部総会
令和 2 年 1 月 6 日（月）～	「毎月 23 日は子どもといっしょに読書の日」啓発ポスター巡回展 鹿児島市→いちき串木野市→日置市の順で巡回予定

「ストーリーテリング講座」

子どもが読書習慣を形成するためには、みんなとお話を楽しんだり、様々な分野の図書に触れたりする経験を重ねることが大切です。その方策のひとつに、「お話（ストーリーテリング）」があります。「お話（ストーリーテリング）」とは、語り手が昔話や創作などの物語を覚え、語り聞かせることです。「語り・おはなし（素話（すばなし））」とも言われます。絵本が言葉のイメージを絵が助けてくれるのに対して、ストーリーテリングは全て自分で自由にお話を描けることにより、想像力を高めます。この想像力が、読書の素地になります。



鹿児島市立図書館では、今年度からストーリーテリング講座（4回）を開設し、4月20日（土）に31人の受講生とともに1回目を実施しました。当日は、ストーリーテリングの基礎について学び、次回からは実際に覚えた話を語る練習を行います。

学んだ成果は、8月3日（土）の「図書館フェスタ」の中で発表します。みなさん見に来てください。

日置市立図書館では、第11回日置市子ども読書活動推進大会を令和元年6月22日（土）午後1時から日置市東市来文化交流センターで開催します。

今回は、読み聞かせや絵本作り、ビブリオバトルのワークショップを開催し、「だるまだ！」や「かっぱのあいさつ」でおなじみの絵本作家高畠那生さんの講演もあります。

『夏休みの風物詩 緑陰読書』

いちき串木野市立図書館では、夏休みに入りますと、学校へのBM車による貸出返却はお休みになりますが、「緑陰読書」という名の出張おはなし会で依頼をいただいた学校へおじゃまさせていただいております。風の通る木陰で行うおはなし会は夏の風物詩となっております。

夏休み期間は、このほかに図書館体験、調べる学習講座、夏休みスペシャルおはなし会、BM開放デー、夏休みクイズなど、ひとりでも多くの児童・生徒さんが本を好きになってもらうような楽しい仕掛けをたっぷり用意してお待ちしております。